

R3 ディスクマニュアル

cervélo

velo

目次

はじめに..... 1

フレームの特徴..... 2

フォークの準備..... 3

小さな部品..... 5

フレームの準備..... 6

ブレーキハウジングの取り付け.....7

機械ケーブル配線..... 9

電気ケーブル配線..... 11

シートポストの組み立てと取り付け..... 13

フレーム保護の取り付け..... 15

タイヤクリアランス..... 16

迅速な車軸ホイールの取り付け..... 17

導入

Cervélo ファミリーへようこそ。R シリーズの自転車をお選びいただいたことを心よりお祝い申し上げます。

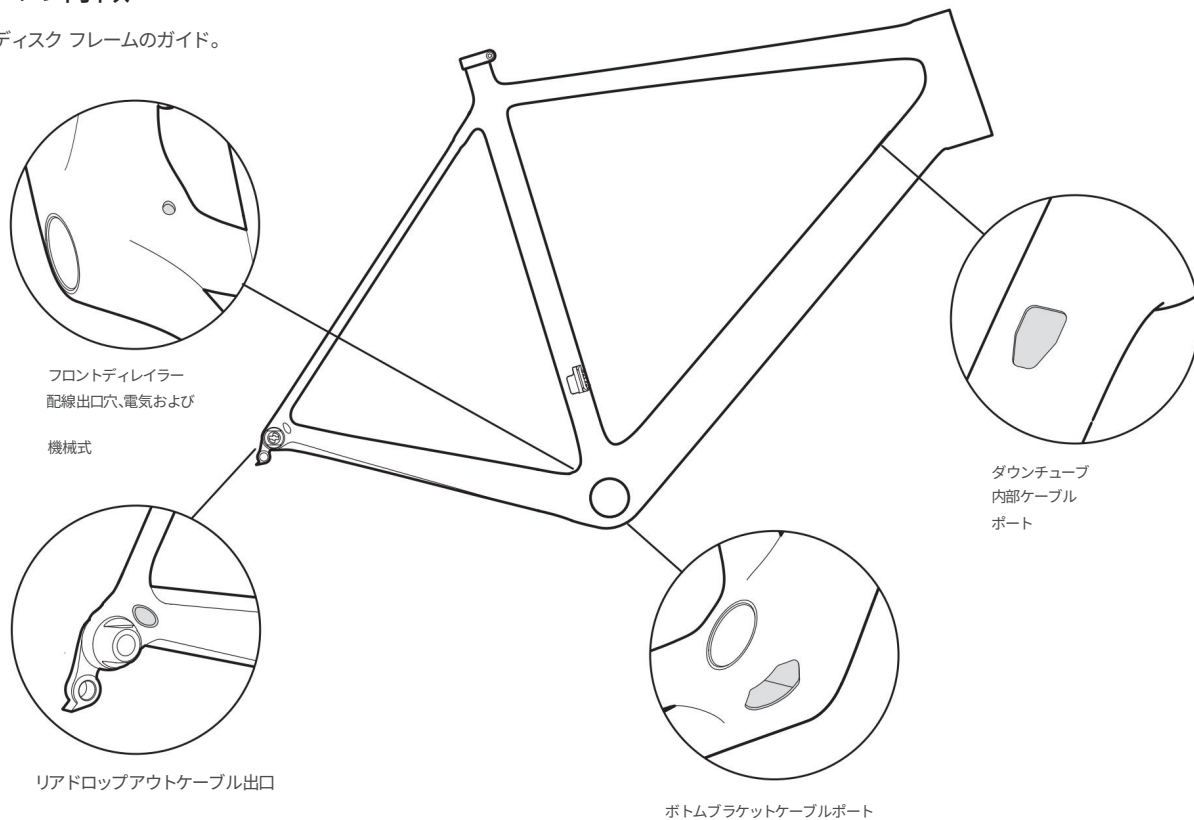
Cervélo Rシリーズのクラシックロードバイクは、超軽量エンジニアリングを採用。どんな登り坂も攻め、下り坂ではスピードとコントロールを存分に楽しめます。控えめなデザインが、路面へのレスポンスに優れた安定した乗り心地と、パフォーマンスを最大限に引き出します。

高性能車を所有する上で、その機能と整備要件をよく理解しておくことが重要です。組み立てや使用の前に、このマニュアルを必ずお読みください。

このドキュメントは、R シリーズの独自機能の組み立て手順を説明するために作成されていますが、コンポーネント製造元が提供する組み立て手順の補足としてのみ使用されることを目的としています。

フレームの特徴

Cervélo R3 ディスク フレームのガイド。



フォークの準備

A. ステムキャップ + 5mmボルト

B. ヘッドセットスパーサー

C. ベアリングキャップ

D. 圧縮リング

E. ベアリング

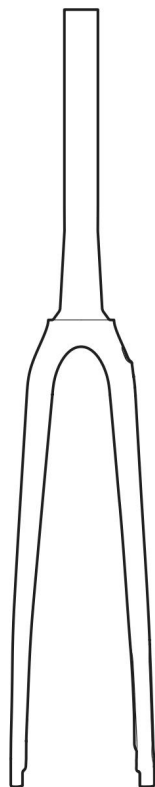
F. フォークインサート

G. 2液型エポキシ

H. ミキシングスティック

I. イソプロピルアルコールワイブ

J. サンドペーパー (120番)



1. ベアリングシートにグリスを塗布し、上部と下部を取り付けます。

ヘッドセットベアリングをヘッドチューブに組み込みます。

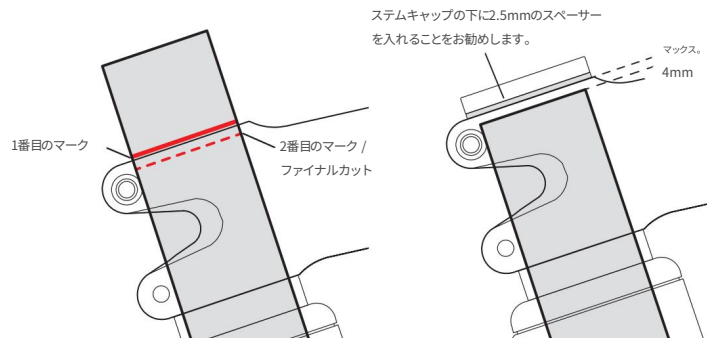
2. フレームに付属のフォークを、ヘッドセット一式、必要なスパーサー、ステムとともにヘッドチューブに取り付けます。

3. アセンブリが完全に固定されていることを確認するために必要な最小限の圧力を加えます。ステムの上部にあるステアチューブに印を付けます。

4. フォークを取り外し、最初の印から4mm下の位置にフォークステアラーチューブの明確な印を付けます。この印がステアラーチューブのカットラインとなるため、この測定値が正しいことを確認してください。

▲ Cervéloのフレームとフォークは互いに連携して動作するように設計されています。異なるサイズのフォークに交換する場合は、Cervéloカスタマーサービスにお問い合わせいただき、フレームとの互換性をご確認ください。

▲ 炭素複合材料の切断中に発生する粉塵を吸い込まないようにしてください。



5. フォークステアラーをトリミングするには、カーボンの切断に適した鋸のみを使用してください。
そしてカッティングガイド。

6. ステアラーの切断端の内側に慎重に斜面をやすりで削ります。
インサートにフィットするチューブ。

7. インサートを仮組みして、ステアラー チューブの切断端と面一になっていることを確認
します。

8. イソプロピルアルコールを使用して、ステアラーチューブの内側とインサートの外側を清
掃します。

9. 2 成分エポキシを完全に混ぜ、木製のミキシング スティックを使用してインサートの外側の表
面に塗布します。

10. インサートをゆっくり回転させながらステアラーに差し込み、広がった端がステアラーの上部
と面一になるまで押し込みます。

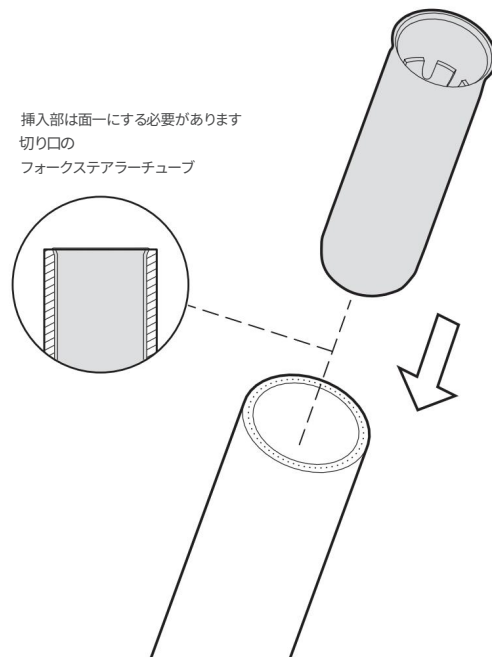
11. イソプロピルアルコールワイプを使用して、ステアラーチューブの外側の表面から余分
な接着剤を拭き取ります。

12. フォークを脇に置き、そのまま置いておく。
硬化期間。

▲ 完全な硬化期間が完了する前に、フォークを自転車に取り付けようとししないでください。

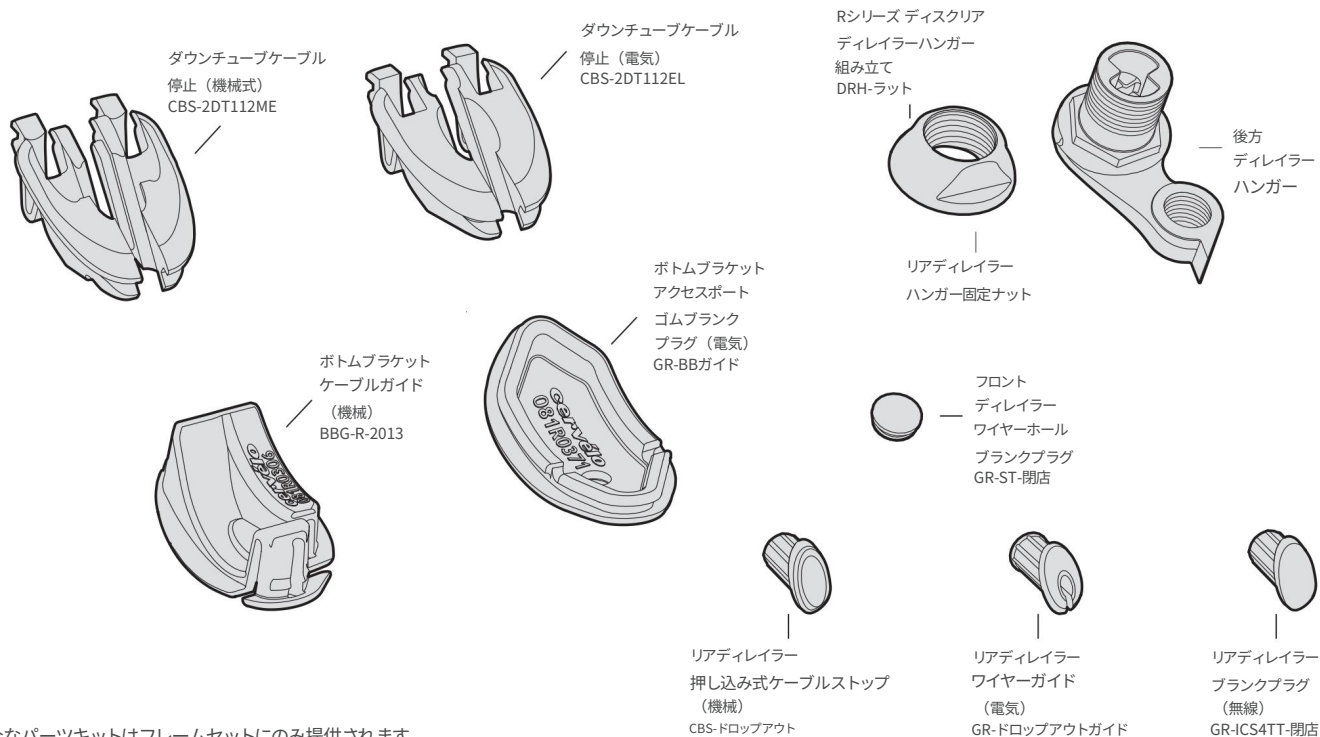
▲ ステアラーチューブを不適切に切断すると、重大な傷害または死亡につながる故障が発生
する可能性があります。

▲ ベアリング キャップを含めたスペーサーの合計最大高さは 50 mm を超えな
いようにしてください。



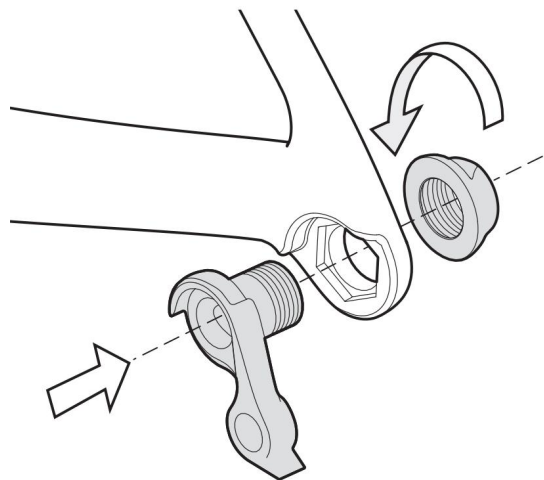
小さな部品

R3ディスクフレームは、電子制御、機械式、油圧式の制御システムに対応するよう設計されており、方式やブランドを問わず、あらゆる変速システムをシームレスに統合できます。そのためには、以下のパーツが必要です*。



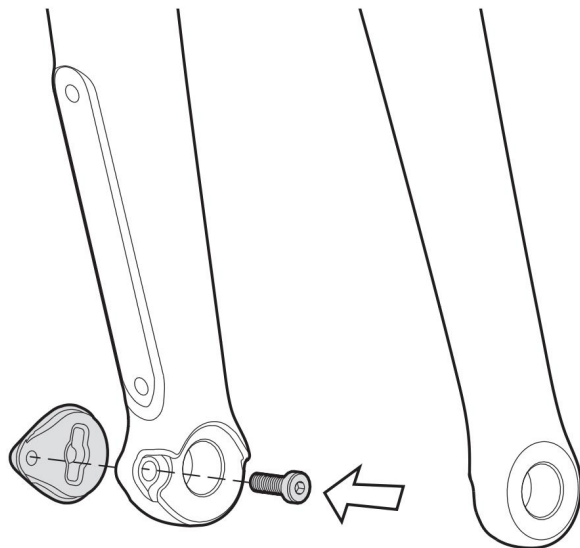
*完全なパーツキットはフレームセットにのみ提供されます。

フレームの準備



リアディレイラーハンガー固定ナットに軽くグリースを塗り、リアディレイラーハンガーを指で締め付けます。最終締め付けはリアホイールを取り付けた後に行います。

- ▲ 後輪を取り付けていない状態でリアディレイラーハンガーアセンブリを本締めしないでください。そうしないと、ディレイラーの位置がずれ、変速が悪くなります。

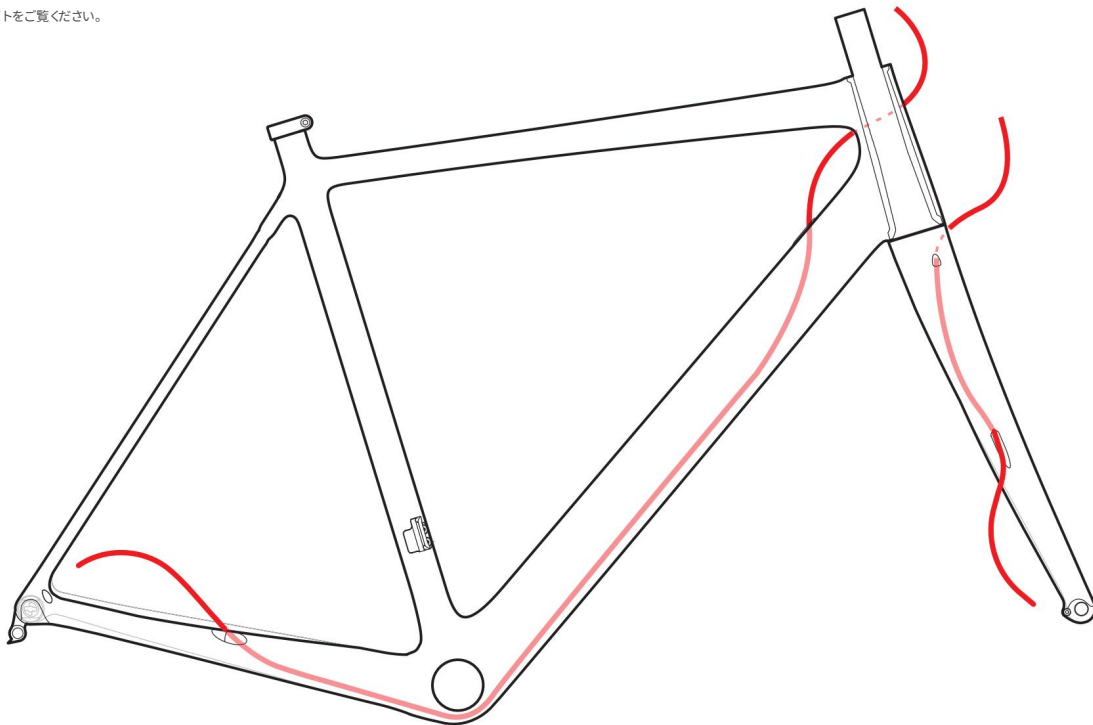


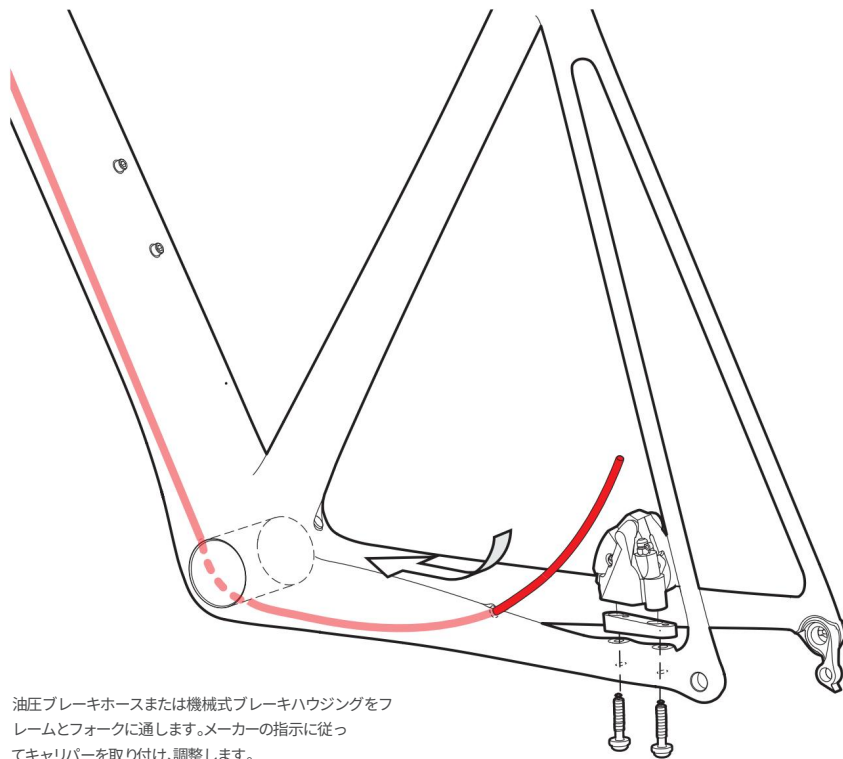
フロントフォークにCervélo Rapid Axleインサート (QRI-RAT)を取り付けます。ボルトに軽くグリースを塗り、最大3 Nmで締め付けます。

ブレーキハウジングの取り付け

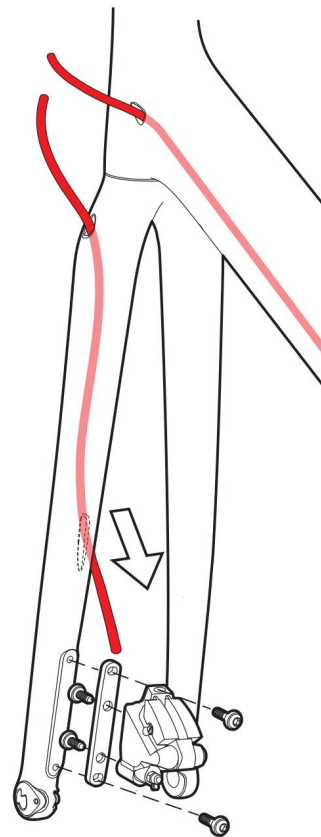
油圧ブレーキホースまたはブレーキケーブルハウジングを最初に取り付けることをお勧めします。これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足する目的でのみ提供されています。油圧式ディスクブレーキおよび機械式ディスクブレーキのいずれの場合も、部品メーカーのサービスセンターにお問い合わせください。

詳細については、または Web サイトをご覧ください。





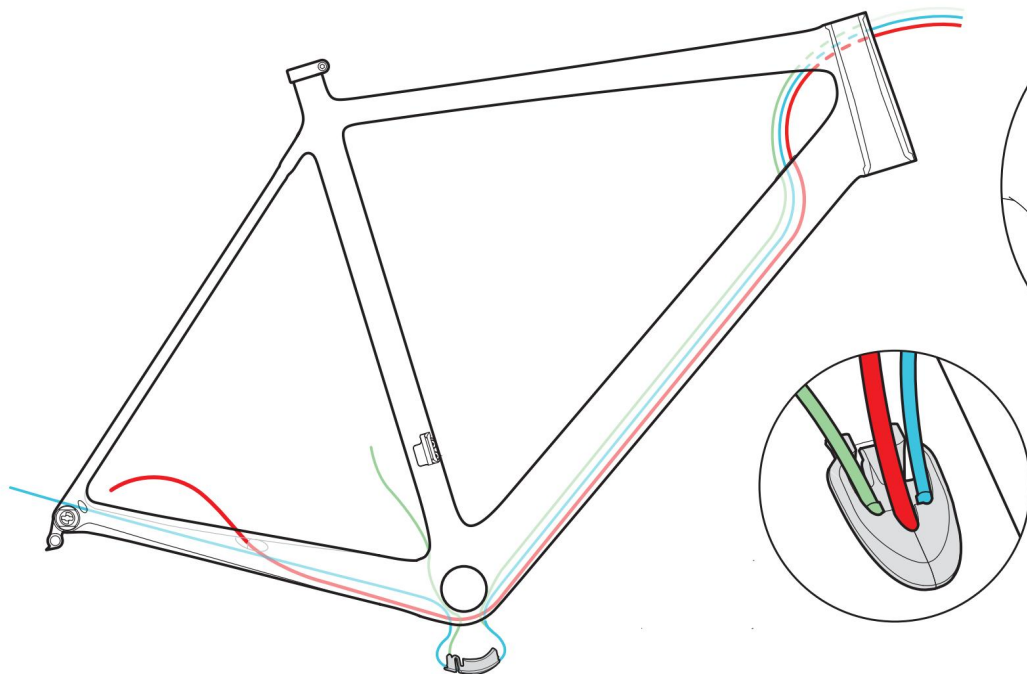
油圧ブレーキホースまたは機械式ブレーキハウジングをフレームとフォークに通します。メーカーの指示に従ってキャリパーを取り付け、調整します。



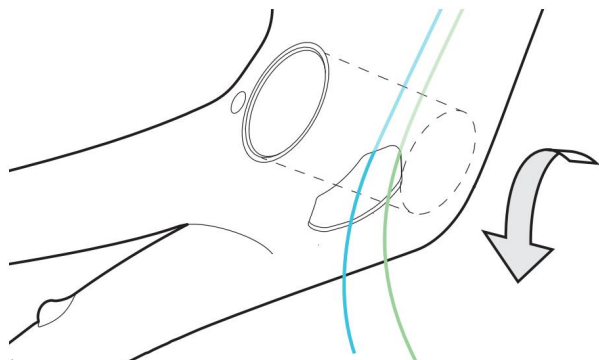
機械ケーブル配線

ブレーキホースを取り付けた後に、フロントおよびリアディレイラーケーブルを取り付けることをお勧めします。

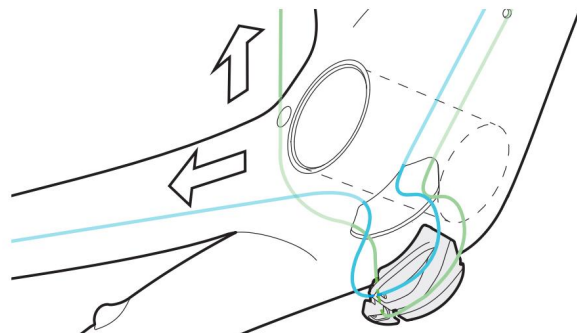
これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足する目的のみ提供されています。詳細については、コンポーネントメーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。



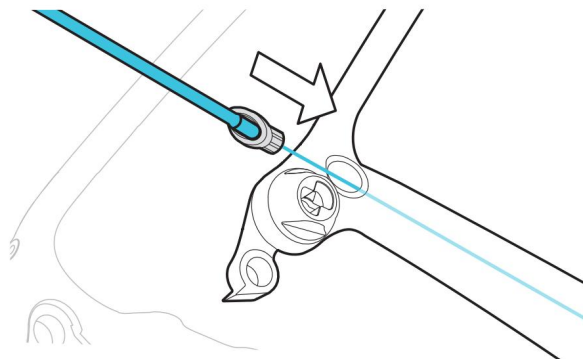
ブレーキ ホースがすでに取り付けられている状態で、2 ピースのダウン チューブ ケーブル ストップ (機械式) を取り付け、ケーブル ハウジング (フェルルール付き) をストップに通して、ハウジングがポケット内にしっかりと収まるまで続けます。



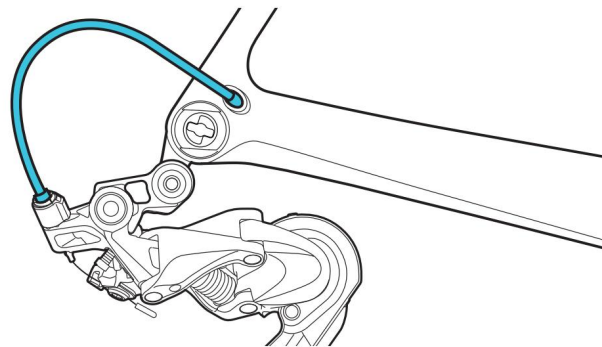
ギアケーブルをボトムブラケットのケーブルポートから配線します。ケーブルが絡まっていないことを確認してください。



フロントケーブルは非ドライブサイドのスロットを横切り、シートチューブの方向へ進みます。リアケーブルはドライブサイドのスロットを通り、チェーンステーに沿って進みます。完了したら、ボトムブラケットケーブルガイドをカチッとはめ込みます。



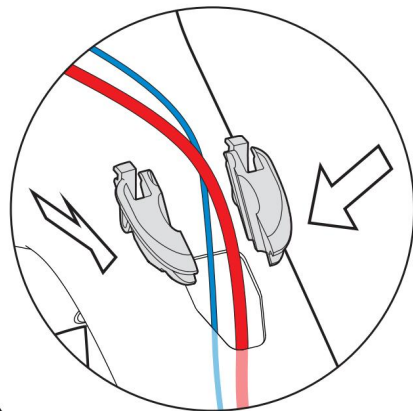
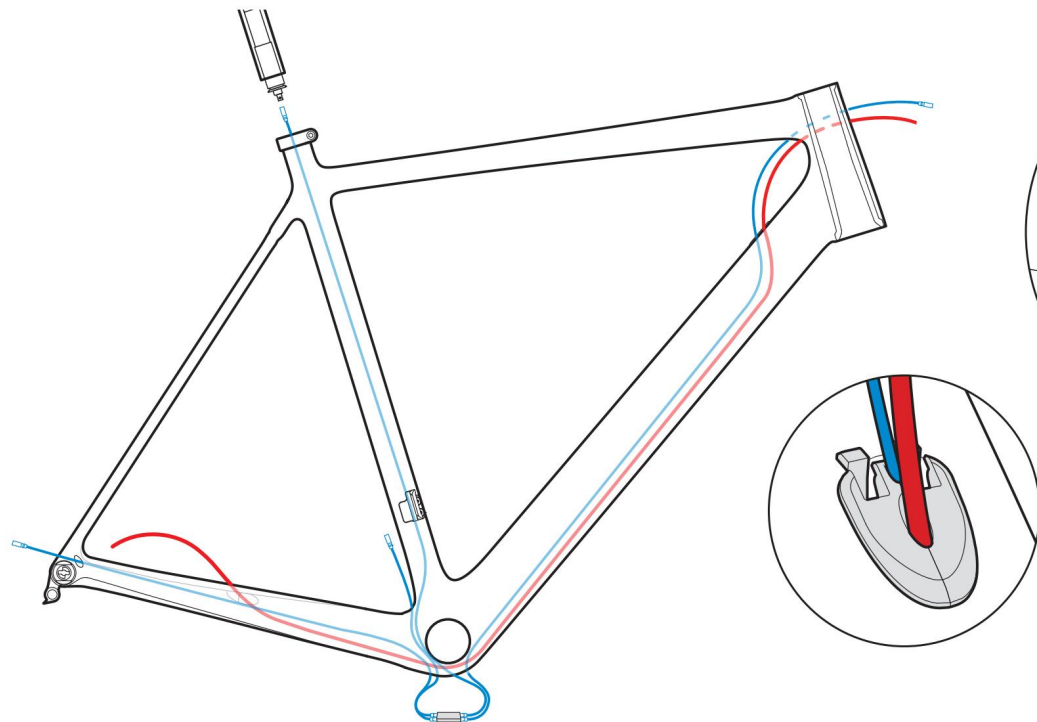
リアディレイラープレスインケーブルストップを取り付けます。



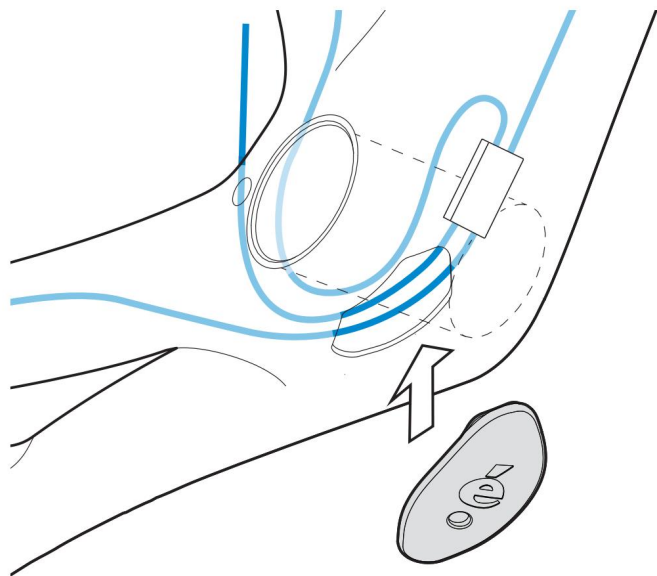
製造元の指示に従って、リアディレイラーをリアディレイラーハンガーに取り付け、適切なハウジングの長さにカットし、ケーブルを取り付けます。

電気ケーブル配線

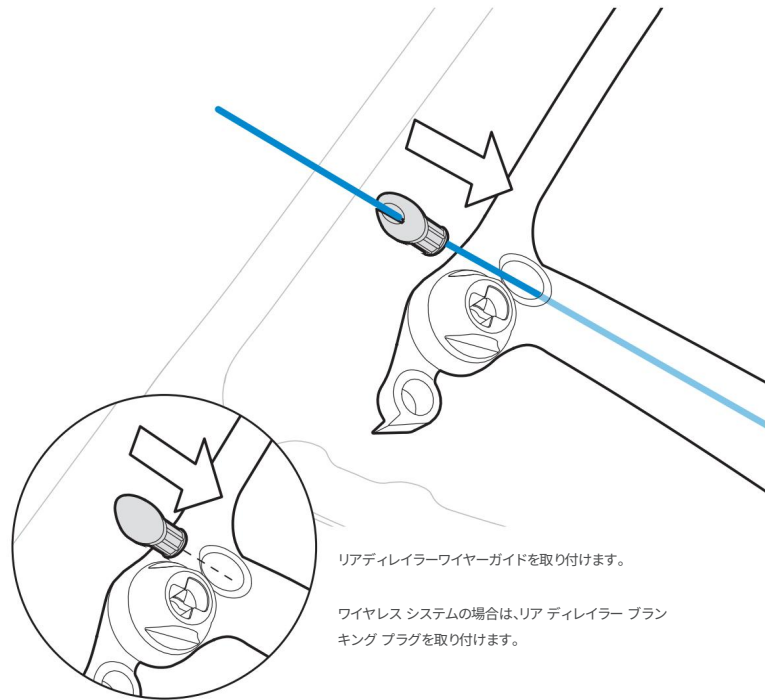
ブレーキホースを取り付けた後に、電気配線と接続ポイントを設置することをお勧めします。これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足することを目的としています。詳細については、部品メーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。



ブレーキホースが既に取り付けられている状態で、ダウンチューブの電気ロックワイヤーをボトムブラケットまで配線します。2ピース構成のダウンチューブケーブルストップ（電動）を取り付けます。このパーツはワイヤレス変速システムにも使用できます。



すべてのワイヤーを内部に入れたまま、ボトム ブラケット アクセス ポートをボトム ブラケット アクセス ポート ラバー ブランク プラグで覆います。



リアディレイラーワイヤーガイドを取り付けます。

ワイヤレス システムの場合は、リア ディレイラー ブランキング プラグを取り付けます。

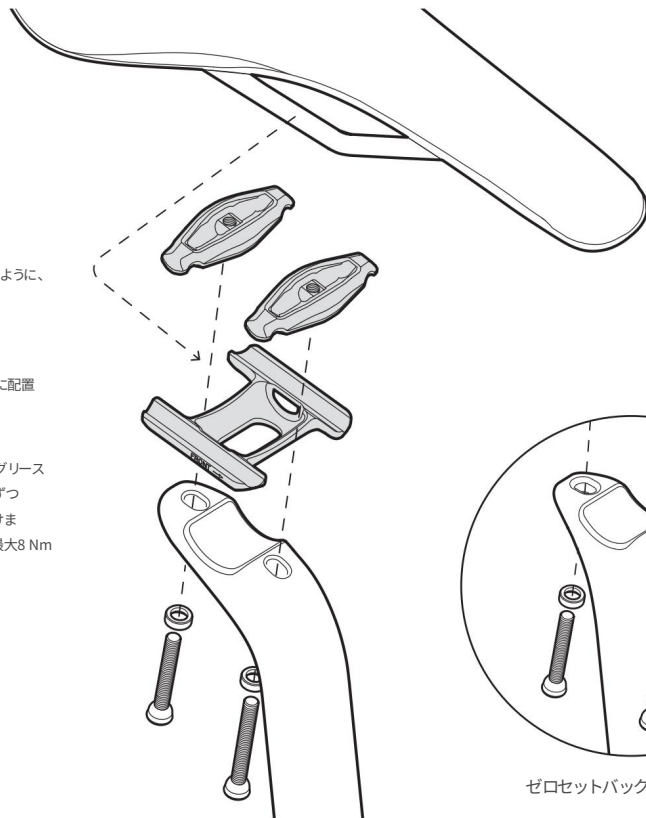
シートポストの組み立てと取り付け

1. カーボンを薄く塗る

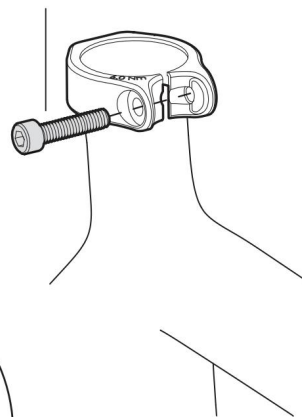
調整スロットの周囲の領域を確実にカバーするように、シートポストの上面に組み立てコンパウンドを塗ります。

2. サドルレールを上部クランプと下部クランプの間に配置して、シートポストに取り付けます。

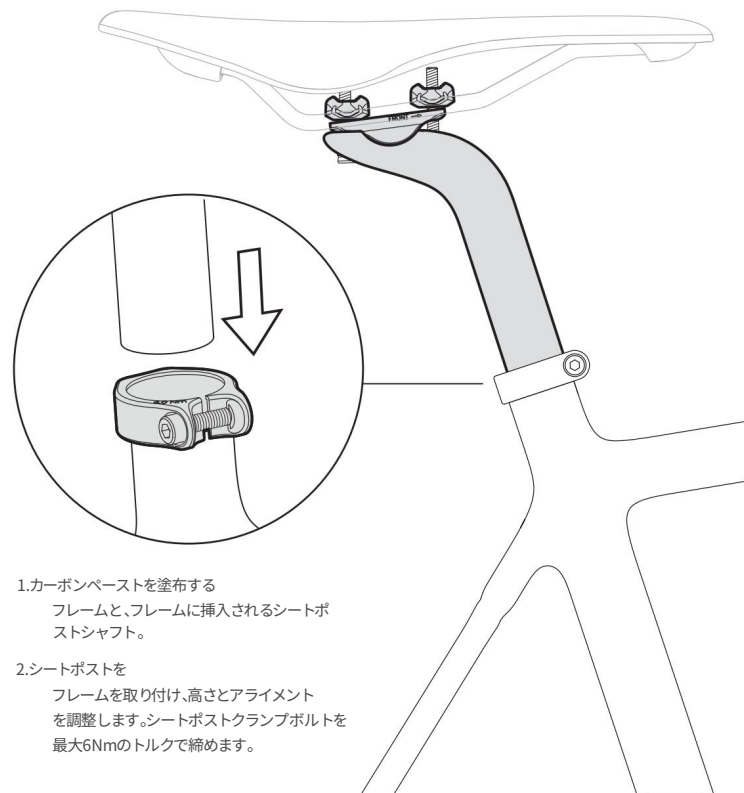
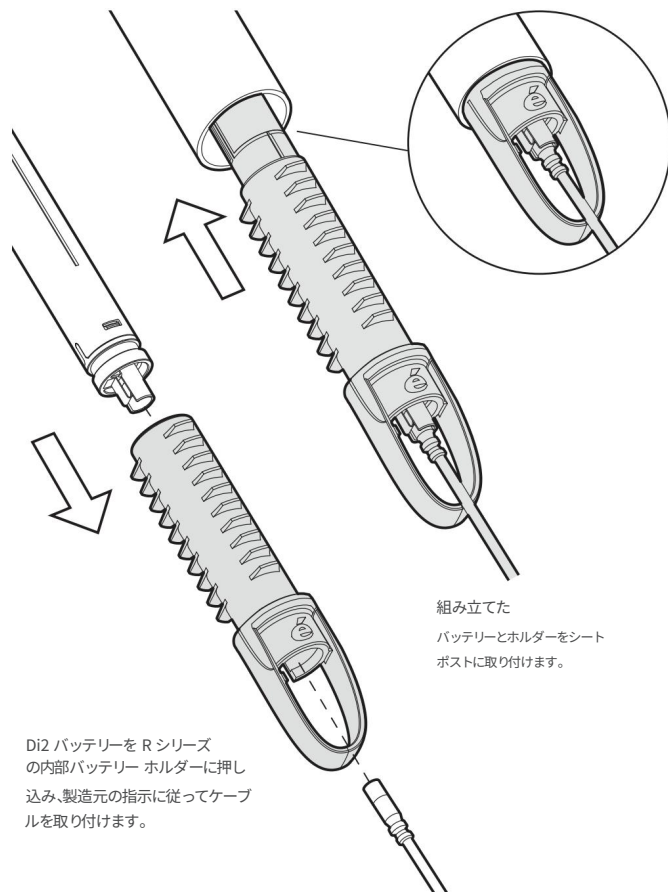
3. アライメントワッシャーを取り付けた状態で、軽くグリースを塗布した固定ボルトを、両側交互に1/2回転ずつ締め付け、アセンブリをシートポストに取り付けます。サドルの調整が完了したら、固定ボルトを最大8 Nmで締め付けます。



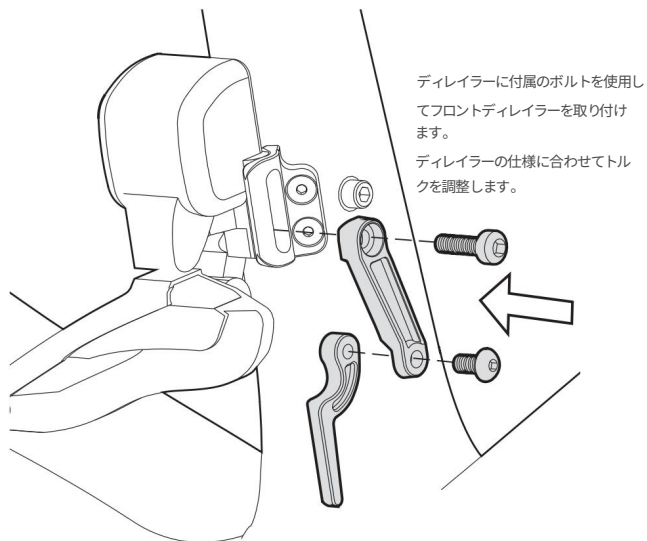
ボルトのネジとシートポストクランプのネジ山にグリースを塗ります。



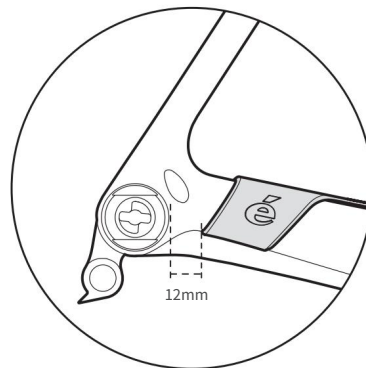
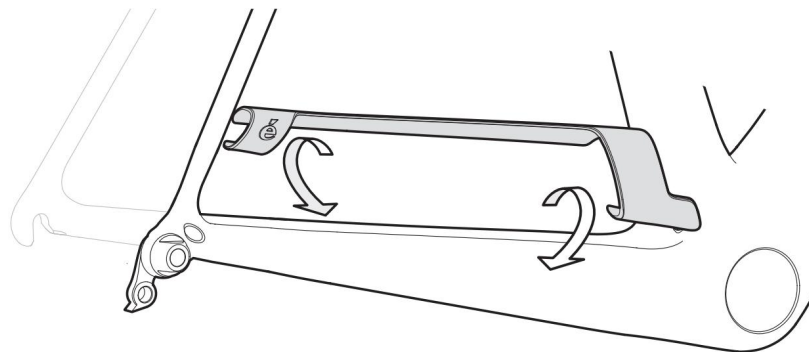
ゼロセットバックシートポスト



フレーム保護の取り付け



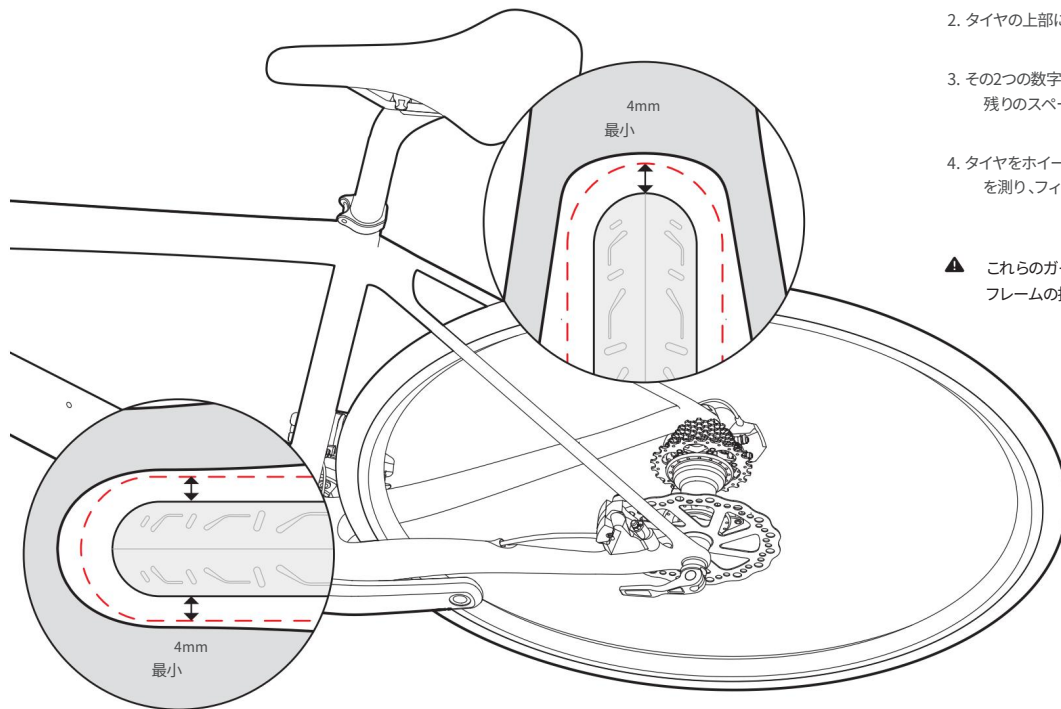
フロントディレイラーを取り付ける際にチェーンキャッチャーを取り付けます。チェーンを最小チェーンリングと最大カセットスプロケットにセットし、最終調整を行います。接続ボルトを4 Nmで締め付けます。



イソプロピルアルコールを使用してチェーンステーを清掃します。チェーンステーガードを取り付けるには、粘着テープをはがし、フレームに固定します。ガードの下端は、リアディレイラーハンガー固定ナットの端から12mm離れている必要があります。

タイヤクリアランス

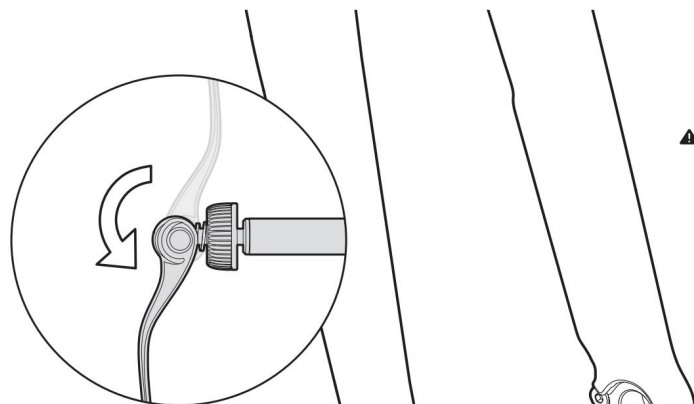
Cervéloバイクは、タイヤクリアランスに関するISO 4210-2:4.10.2規格に準拠しています。これらの安全基準を遵守し、限定生涯保証を維持するには、タイヤとフレームのあらゆる要素の間に最低4mmのクリアランスを確保する必要があります。タイヤの接合部はますます複雑化しているため、Cervéloではタイヤを選ぶ前に、ボトムブラケット接合部で利用可能なスペースを確認することを推奨しています。



2. タイヤの上部にあるシートステー間のスペースを測定します。
3. その2つの数字のうち小さい方を使って、残りのスペースを決定するには、8mm (片側4mm) を差し引きます。
4. タイヤをホイールに取り付けて完全に空気を入れた状態で、タイヤの幅を測り、フィットすることを確認します。

⚠ これらのガイドラインに従わない場合は、フレームの損傷は Cervélo 限定生涯保証の対象外です。

迅速な車軸ホイールの取り付け



Cervélo Rapid Axle レバーをオープン位置にします。

車軸レバーが開いた位置にあるときは、矢印が見えます。

アクスルレバーが閉じた位置ではCervéloのロゴが見えます。

前輪を固定するには、グリースを塗布したアクスルを、ドライブサイドのドロップアウトからホイールハブに通し、アクスルのT字型エンドをインサートに合わせます。アクスルを時計回りに90°回転させ、T字型エンドがインサートに当たらない位置まで回します。レバーの締め付けが強すぎる場合や弱すぎる場合は、プリロードナットを調整して、レバーがしっかりと固定されるようにします。

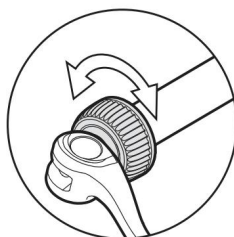
▲ レバーを閉じるのに必要な力は、手のひらにはっきりとした跡を残すか、閉じるときにこの作用を得るためにフォークの脚の周りに指を巻き付ける必要があります。



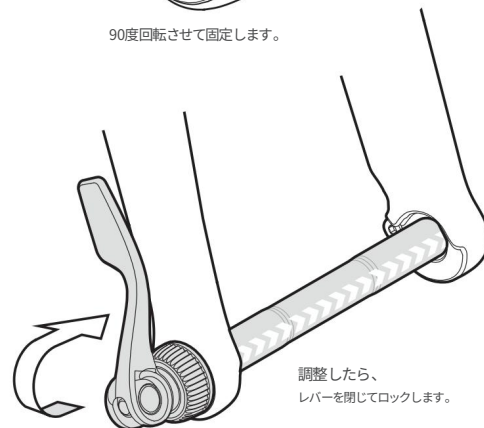
車軸を挿入します。



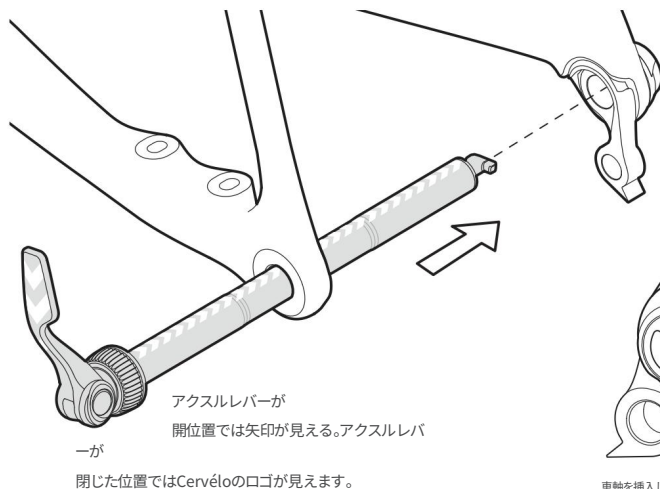
90度回転させて固定します。



閉じる前に、プリロードナットを使用して希望の張力を設定します。

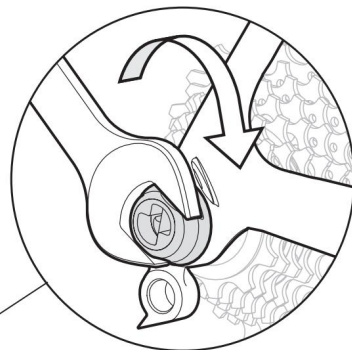
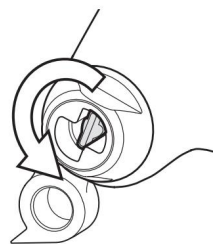
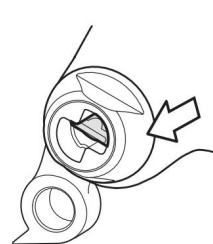


調整したら、レバーを閉じてロックします。



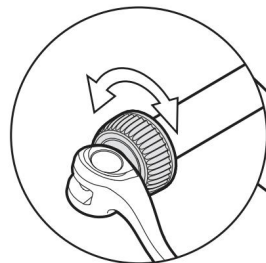
後輪を固定するには、グリースを塗布したアクスルを、非駆動側のドロップアウトからホイールハブに通し、アクスルのTエンドをディレイラーハンガーのインサートに合わせます。アクスルを時計回りに90°回転させ、Tエンドがインサートに当たって止まるまで回します。レバーの締め付けが強すぎる場合や弱すぎる場合は、プリロードナットを調整して、レバーがしっかりと固定されるようにします。

⚠ レバーを閉じるのに必要な力は、手のひらにはっきりとした跡を残すか、閉じるときにてこの作用を得るためにフォークの脚の周りに指を巻き付ける必要があります。

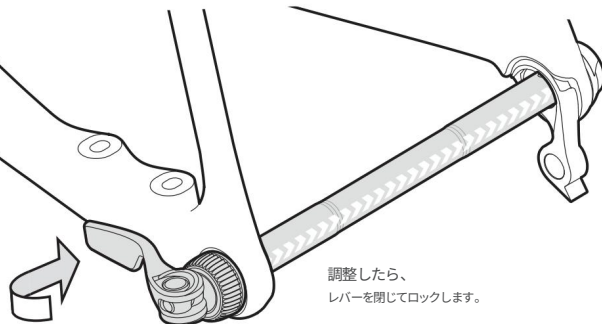


17mmレンチを使用してリアディレイラーハンガー固定ナットを最終締め付けします。
このアクションは最初の組み立てに固有のものであり、その後の調整は必要ありません。

- ⚠ アフターマーケットのホイールセットを使用する場合は、コンポーネント製造元のサービス センターまたは Web サイトで詳細を参照してください。
- ⚠ 製造元の指示に従ってブレーキを調整します。
- ⚠ メーカーの指示に従ってシフトを調整します。



閉じる前に、プリロードナットを使用して希望の張力を設定します。



R3 ディスクマニュアル

www.cervelo.com
CER-R3D-V2

cerv